

平成 29 年度 事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人 東都大学野球連盟



平成 29 年度 事業計画

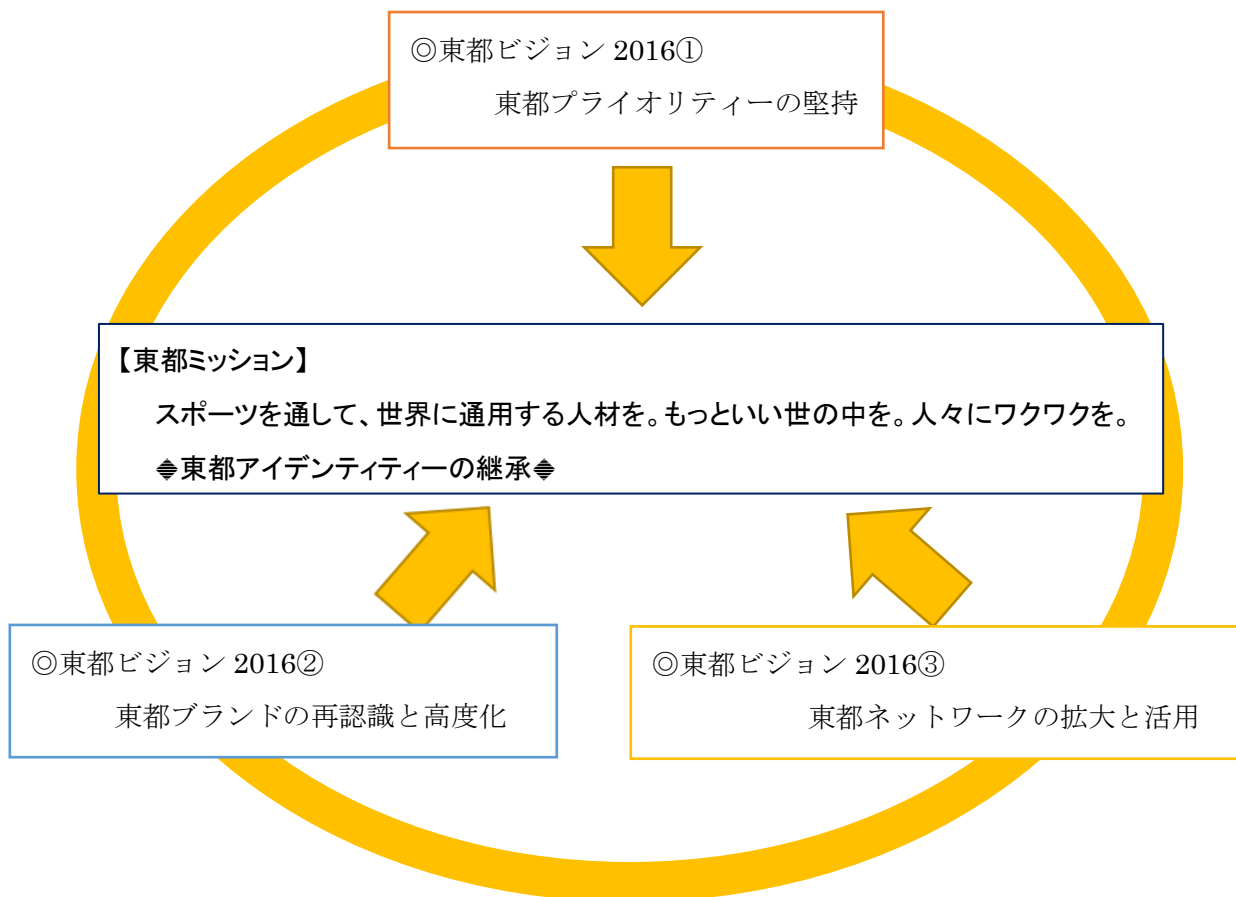
I. 基本方針

昨年度は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちの活躍に一喜一憂し、日本国民が感動を共有したスポーツの一年であった。そして、昨年 8 月にリオデジャネイロで開催された IOC 総会にて、野球・ソフトボールが正式種目として採用され、2020 年東京オリンピックで野球が開催されることとなった。また、日本の野球界では、大谷翔平選手を擁する日本ハムファイターズと 25 年ぶりにセ・リーグの覇者となった広島東洋カープが日本シリーズを戦った。専修大学出身である黒田博樹選手は、日本中のファンに惜しまれながら現役を引退した。また、駒澤大学出身である新井貴浩選手と黒田投手が抱き合ったシーンは強烈に野球ファンの心を掴んだ。

また、大学野球界では、第 40 回日米大学野球選手権大会が日本で開催された。当連盟からは、京田陽太選手（日本大学）、北村拓己選手（亜細亜大学）、山崎剛選手（國學院大學）、が選出され、2 大会連続 18 回目の優勝に貢献した。

そして、当連盟は、昨年度で結成 85 周年を迎えた。本年度は、東都ビジョン 2016 を掲げ、また、一般財団法人として設立登記をされて以来、初めての理事・監事が改選となり、新たなスタートを切る。当連盟及び加盟校の持続的な成長を目的とし、中長期構想である東都ビジョン 2016 をベースに、単年度の事業を計画・遂行していく。東都の使命は、20 世紀に創造された東都の伝統と力を、21 世紀において継承し発展させていくことにある。この東都の伝統と力、挑戦者精神に裏付けられたプライオリティーこそ、東都の持続可能性と発展可能性の貴重な礎であると自負し、いっそう結束を強めて、90 周年・100 周年を展望した未来指向の新たな挑戦を始動する。

➤ 東都ミッション及び東都ビジョン



➤ 行動指針

- ・ 学生第一
- ・ 公正公平
- ・ 現場主義
- ・ 無常迅速
- ・ 共存共栄

Ⅱ. 平成 29 年度の主な事業

当連盟は、日本学生野球憲章に基づき、大学野球の健全な発展に資することを目的として、定款第 4 条に定められた次の事業を行う。

- (1) 東都大学野球リーグ戦及びその他の試合の開催
- (2) 学生野球の健全な発展のための奨励指導
- (3) 大学野球に係る調査・研究活動
- (4) 野球を通しての国際交流・親善及び国際相互理解の推進
- (5) 大学野球に係る関係諸団体との協力連携
- (6) 大学野球を通しての社会貢献
- (7) その他この法人の目的達成に必要な事項

➤ 平成 29 年度の重点事業

【東都プライオリティの堅持】

全日本大学野球選手権大会シード権の再奪取
フレッシュマンリーグの実施可能性の検討

【東都ブランドの再認識と高度化】

試合動画配信サービス・SNS サービスの拡充
顧問、シニアフェロー制度の確立

【東都ネットワークの拡大と活用】

東都大学野球応援団連盟・学生記者クラブの設置
女子野球リーグ結成の実現可能性の検討
協賛企業との連携強化

(1) 東都大学野球リーグ戦及びその他の試合の開催

真摯にしてレベルの高い試合展開を提供するため、試合環境を整備し、東都大学野球の魅力を広く社会へ訴える。

【リーグ戦】

・春季リーグ戦（I 部） 平成 29 年 4 月 4 日（火）～5 月 24 日（水）

・秋季リーグ戦（Ⅰ部） 平成 29 年 9 月第 1 週（予定）

※ただし、雨天その他の場合は順延する。

※Ⅱ部～Ⅳリーグ戦は上記日程に準じて、開催する。

・優勝旗授与式及び表彰セレモニー

例年、1 部リーグ戦の最終戦終了後に行っていた表彰式や表彰制度を見直す。各部の優勝が決まった試合直後に行う優勝旗授与式の実現可能性や、協賛企業等を招待し表彰セレモニーと懇親会の開催を検討する。

【その他の試合】

・春季入れ替え戦

（Ⅰ部-Ⅱ部） 平成 29 年 6 月 12 日（月）～6 月 16 日（金）

（Ⅱ部-Ⅲ部、Ⅲ部-Ⅳ部） 平成 29 年 6 月 19 日（月）～6 月 23 日（金）

・秋季入れ替え戦

（Ⅰ部-Ⅱ部、Ⅱ部-Ⅲ部、Ⅲ部-Ⅳ部） 平成 29 年 11 月 4 日（土）～11 月 9 日（木）

・1 部 2 部 新人交流戦

平成 28 年 8 月中旬

・フレッシュマンリーグの実施可能性の検討

各加盟校の 1・2 年生部員を中心とした、フレッシュマンリーグの実施可能性を検討していく。

(2) 学生野球の健全な発展のための奨励指導

【審判講習会】

各季リーグ戦を迎えるにあたり、質の高い試合を実現するため審判員の講習・練習会を行う。また、学生審判員については、所定の講習を受講した者にアマチュア野球公認審判証の交付を行う。

・秋（平成 29 年 8 月） 於：未定

・春（平成 30 年 3 月） 於：未定

【応急処置講習会・救命救急講習会】

各季リーグ戦を迎えるにあたり、不測の事態に備えて、応急処置や救命救急の講習を行う。また、各自治体の講習会を受講した者に認定証の交付を行う。

- ・秋（平成 29 年 8 月） 於：未定
- ・春（平成 30 年 3 月） 於：未定

【奨励指導・研修会】

当連盟に所属する部員に対し、社会から求められるコンプライアンスやマナーの講習・研修を行う。

(3) 大学野球に係る調査・研究活動

【東都大学野球連盟 公式記録の保存・管理】

公式記録の電子化を進め、保存・管理業務を行う。

(4) 野球を通しての国際交流・親善及び国際相互理解の推進

【オーストラリア野球連盟】

オーストラリア野球連盟との協力により、今後も同連盟との交流・連携を進め、当連盟の国際化のさらなる推進を図る。

(5) 大学野球に係る関係諸団体との協力連携

【上部団体との協力連携】

本年度も引き続き、上部団体との協力連携を行っていく。

【懇親会】

本年度のリーグ戦開幕に際して、加盟大学の関係者ならびに、マスコミ、協賛団体、関係団体を招いて行う。

- ・平成 29 年 4 月 7 日（金） 於：明治記念館

【東京都高等学校野球連盟 協力】

当連盟の秋季入れ替え戦と東京都高等学校野球連盟の秋季大会を同日に神宮球場で行い、東京都高校野球連盟との相互な協力で試合を運営する。

(6) 大学野球を通しての社会貢献

各地で開催される青少年の少年野球教室などへの支援や、震災復興への支援等、社会的貢献活動への積極的関与を行う。

【東都ベースボールメソッド及びアンパイアスクール】

当連盟は、大学野球界の一役を担い、野球教室等を開催し、野球振興に尽力する。

【NHK 新人アナウンサー研修協力】

・平成 29 年 4 月

春季リーグ戦（1 部） 於：明治神宮野球場

【読売新聞社 新人記者研修協力】

・平成 29 年 4 月 29 日（土）、4 月 30 日（日）、5 月 6 日（土）、5 月 7 日（日）

春季リーグ戦（3 部 4 部） 於：芝浦工業大学グラウンド

(7) その他この法人の目的達成に必要な事項

【法人運営】

社会的な信頼を得て、社会的な責任を果たすため、公正公平で透明性のある法人運営を行う。顧問・シニアフェローの制度の確立を行う。

【第 66 回全日本大学野球選手権大会】

全日本大学野球選手権大会が 66 回大会を迎える。始球式では、第 16 回大会の優勝校より投手を務めることになり、中央大学から代表者を選出する。

また、シード権の再奪取に向けて、春季リーグ戦優勝校のサポートを行う。

【就職フォーラム】

当連盟の部員に対して野球だけではなく、就職活動についても支援を行っていく。また、社会情勢の変化に対応して、就職フォーラムの実施内容を見直していく。

【プロジェクトチーム・外部委員会・アドバイザリーボード】

当連盟の活性化案等も含め実行可能な検討を行う。

【web ページ】

当連盟の活動に関する豊富にして迅速な情報提供のために、SNS 等を含めたホームページの充実を図り、魅力的な存在をより広く社会に周知する。

【試合動画 LIVE 配信】

当連盟の開催する試合について、試合動画 LIVE 配信を行い、当連盟の魅力を全国にアピールする。

【東都大学野球応援団連盟（仮称）の設置】

各加盟校の応援団との連携をさらに強化するために、東都大学野球応援団連盟（仮称）を東都大学野球ネットワークの一組織として設置する。

【東都大学野球学生記者クラブ（仮称）の設置】

各加盟校の学生記者との連携をさらに強化するために、東都大学野球学生記者クラブ（仮称）を東都大学野球ネットワークの一組織として設置する。

【女子野球リーグ結成の実現可能性の検討】

各加盟校の女子野球部との連携をとり、東都大学女子野球リーグ（仮称）結成の実現可能性を検討する。

【収益事業の見直し】

安定した法人運営を実現するため、オフィシャルグッズの販売を含めた収益事業の抜本的な見直しを行う。

以上